

平成 29 年度 第 1 回電磁界理論技術委員会  
第 98 回 電子情報通信学会電磁界理論研究専門委員会  
合同委員会 議事録(案)

日時：平成 29 年 6 月 2 日(金) 15:30～17:00

場所：日本大学理工学部駿河台校舎 5 号館 524 会議室

出席者：後藤委員長(防衛大)<sup>†‡</sup>、廣瀬委員長(東京大)<sup>‡</sup>、佐藤前委員長(東北大学)<sup>‡</sup>、  
平山副委員長(北見工大)<sup>‡</sup>、有馬委員(東京農工大)<sup>‡</sup>、尾崎委員(日本大)<sup>†</sup>、田中委員(岐阜大)<sup>†‡</sup>、  
大貫委員(日本大)<sup>‡</sup>、柴崎委員(都立高専)<sup>‡</sup>、平野委員(東京工大)<sup>‡</sup>、藤田委員(富士通)<sup>‡</sup>、  
阪本幹事(兵庫県立大)<sup>‡</sup>、松岡幹事補佐(九州産業大)<sup>‡</sup>、出口幹事(同志社大)<sup>†</sup>、川口幹事(室蘭工大)<sup>†</sup>、  
中幹事補佐(九州保健福祉大)<sup>†</sup>

†：電気学会，‡：電子情報通信学会

配布資料：

電気学会

- No.29-ETC1-1 平成 28 年度第 3 回電磁界理論技術委員会議事録(案)
- No.29-ETC1-2 A 部門活動資金／技術委員会予算運用状況
- No.29-ETC1-3 2017 年度(平成 29 年度)第 46 回電磁界理論シンポジウムについて
- No.29-ETC1-4 平成 29 年度電磁界理論技術委員会名簿

電子情報通信学会

- No.98-1 第 97 回電磁界理論研究専門委員会議事録
- No.98-2 平成 28 年度研究専門委員会活動費等収支決算報告
- No.98-3 2017 年総合大会エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について
- No.98-4 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号 (2018 年 1 月号) について
- No.98-5 2017 年 6 月電磁界理論研究会の終了報告
- No.98-6 2017 (平成 29) 年度電磁界理論研究専門委員会活動計画
- No.98-7 ISAP 国際会議委員会 報告
- No.98-8-1 国際会議 協催 (ICCEM2017) 報告
- No.98-8-2 IGARSS2019 組織委員会 作業進展状況 (報告)
- No.98-9 研究会でのトライアル実施について
- No.98-10 平成 29 年度電磁界理論研究専門委員会構成

## **電気学会 電磁界理論技術委員会 議事**

### **1. 平成 28 年度第 3 回電磁界理論技術委員会議事録（案）について**

後藤委員長より資料 No. 29-ETC1-1 に基づき、前回議事録を確認し、了承された。もし後日気づいた点などあれば、改めてご連絡頂きたい旨説明がなされた。

### **2. A 部門活動資金／技術委員会予算運用状況**

後藤委員長より資料 No.29-ETC1-2 に基づき、A 部門活動資金／技術委員会予算運用状況において、シンポジウムにおける特別講演者への謝金が計上されていると説明がなされた。

### **3. 2017 年度(平成 29 年度)第 46 回電磁界理論シンポジウムについて**

出口幹事より資料 No.29-ETC-3 に基づき、2017 年（第 46 回）電磁界シンポジウム開催について説明がなされた。プロジェクト等の使用料を電子情報通信学会の研専活動費から支出可能かを信学会の松岡幹事補佐が確認することになった。

### **4. 平成 29 年度電磁界理論技術委員会名簿の確認**

後藤委員長より資料 No.28-ETC2-4 に基づき、幹事団、新幹事の川口幹事、新委員会委員の有馬委員、石田委員、尾崎委員、田中委員が紹介された。

以上

## **電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事**

### **1. 第 97 回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認**

廣瀬委員長より資料 No. 98-1 に基づき前回議事録の確認があり、承認された。もし後日気づいた点などあれば、改めてご連絡いただきたい旨説明がなされた。

### **2. 平成 28 年度研究専門委員会活動費等収支決算報告**

松岡幹事補佐より資料 No. 98-2 に基づき、平成 28 年度研究専門委員会活動費収支決算報告について説明がなされた。特定資産繰入金を増やす方策として、現時点での事例として第二研究会を開催する方法があることが説明された。

### **3. 2017 年総合大会エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について**

阪本幹事より資料 No. 98-3 に基づき、2017 年度総合大会エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について、対象講演が 6 件、推薦枠が 1 件であったと説明がなされた。幹事団による審議し推薦者を決定し、学会事務局に推薦したと報告がなされた。推薦者数の決定方法について質問があり、エレクトロニクスソサイエティでは、対象講演 7 件に対して 1 名推薦できる。今回は申し込み時点では 8 件だったので 2 名推薦可であったが、代理投稿が 2 件あったため、対象講演が 6 件になったため自主的に 1 名推薦した、との説明がなされた。

### **4. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号（2018 年 1 月号）について**

阪本幹事より資料 No. 98-4 に基づき、電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号（2018 年 1 月発行）について、Paper : 8 編、Brief Paper : 7 編の投稿があったことが報告された。現在は査読が終わった段階で、翌日（2017 年 6 月 3 日）に第 1 回の編集委員会を日本大学理工学部駿河台校舎 5 号館 524 講義室から 523 講義室に変更して開催するとの説明がなされた。

### **5. 2017 年 6 月電磁界理論研究会の終了報告**

阪本幹事より資料 No. 98-5 に基づき、2017 年 6 月の電磁界理論研究会について、当日（2017 年 6 月 2 日）に日本大学理工学部駿河台校舎で行い、電子情報通信学会 5 件、電気学会 4 件、合計 9 件の発表があったとの説明がなされた。

### **6. 2017（平成 29）年度電磁界理論研究専門委員会活動計画**

阪本幹事より資料 No.98-6 に基づき、2017（平成 29 年）年度電磁界理論研究専門委員会の活動計画について以下の通り説明があった。その中で、7 月の電磁界理論研究会（光・電波ワークショップ）の電子情報通信学会の申込件数 5 件が 4 件に、電気学会側の申込件数 4 件が 3 件に資料の修正がなされた。

#### **(1) 電磁界理論研究会**

日程: 2017 年 6 月 2 日、場所: 日本大学理工学部駿河台校舎

#### **(2) 電磁界理論研究会（光・電波ワークショップ）**

日程: 2017 年 7 月 20 日～21 日、場所: 帯広商工会議所

#### **(3) 電子情報通信学会ソサイエティ大会**

日程: 2017 年 9 月 12 日～15 日、場所: 東京都市大学

#### **(4) 電磁界理論研究会（第 46 回電磁界理論シンポジウム）**

日程: 2017 年 11 月 9 日～11 日、場所: 山形県天童温泉天童ホテル

(5) 電磁界理論研究会（光関係合同研究会）

日程: 2018年1月25日～26日、場所: 姫路・西はりま地場産業センター

(6) 電子情報通信学会総合大会

日程: 2018年3月20日～23日、場所: 東京電機大学

## 7. 関連会議報告

佐藤（源）前委員長より資料 No.98-7 に基づき、ISAP 国際会議委員会について説明があった。2020年に大阪で開催を進めていることが報告された。今年度からは廣瀬委員長が委員になることが説明された。

## 8. 関連国際会議について

松岡幹事補佐より、ICCEM2017への電磁界理論研究専門委員会の技術共催に対してお礼が述べられ、資料 No.98-8-1 に基づき ICCEM2017 の共催報告がなされた。

廣瀬委員長より、資料 No. 98-8-2 に基づいて、2019年に横浜で開催予定の IGARSS2019 の作業進展状況の報告がなされた。

## 9. 研究会でのトライアル実施について

阪本幹事より資料 No.98-9 に基づいて、研究会でのトライアル実施について説明がなされ、電磁界理論研究専門委員として、2017年度は単独開催の場合は従来の開催形態とし、他研専との共催の場合には他研専と足並みをそろえることが説明された。2017年7月の合同研究会では、EMT 研専のみ従来形態とし他研専はトライアルを実施することが説明された。2018年1月の合同研究会も同様の運営形態をとる予定であることが説明された。電子化で同様の問題を抱えている通信ソサイエティの研専の状況を調査することになった。

## 10. 平成 29 年度電磁界理論研究専門委員会構成

廣瀬委員長より、資料 No. 98-10 に基づいて 2017 年度の幹事団、新委員長の廣瀬委員長、新副委員長の平山副委員長、新幹事の黒木幹事、新任の藤田委員、西岡委員が紹介された。

## 11. その他

廣瀬委員長より、専門委員の任期についての問題提起があった。廣瀬委員長から現時点での専門委員会における合意事項について説明があり、任期を超えた委員の方の今後の対応について、専門委員会の運営方針について試案を述べられた。次回のシンポジウムの専門委員会において同問題への対応を決定し、2018年3月から運用することになった。

以上